

まにわ



昨年の様子(月田公民館)

地域の課題を

さつくばらん
に語ろう

開催中

お知らせ

ぎかい講演会開催

11月28日(土) 勝山文化センターポテホール
において平川理恵氏(前広島県教育長)を講師
にお招きし「これからの時代の教育とは」と題し
てご講演いただきます。

午後0時30分開場、午後1時30分開演です。
申し込み不要、入場無料です。多数のご来場を
お待ちしております。

11月1日(日) 午後1時30分から

▼ 中日名公会堂

2日(月) 午後7時から

▼ 下河内コミュニティハウス

4日(水) 午後7時から

▼ 湯本コミュニティハウス

7日(土) 午後2時から

▼ 中和保健センターあじさい

9月定例会

会期9月1日～9月18日

9月定例会の議事録は12月上旬、
ホームページ及び議会事務局で閲覧できます

【主な内容】

今回の一般質問は15人

- 補正予算1件を可決
- 議案8件を可決
- 農業委員19名の任命に同意
- 決算13件を認定
- 陳情1件を不採択

令和8年度9月補正予算

予算は千円単位ですが、見やすくするため
万円表記にし、千円を四捨五入しています

3億5,370万円を可決しました

一般会計補正後 352億5,707万円

	9月補正額	補正後予算額	対前年比
一般会計	3億5,370万円	352億5,707万円	3.3%増
特別会計	-	125億2,004万円	0.1%減
公営企業会計	-	76億9,849万円	1.1%減

物価高騰対策

事業者省エネ対応機器導入
補助事業として

1,800万円増額

一般会計 主な歳入

国庫支出金では、物価高騰対応
重点支援地方創生臨時交付金2,
740万8千円を増額しています。地
方交付税では、普通地方交付税の交付
額決定に伴い、3億887万8千円を増額
しています。

繰入金では、財政調整基金繰入金5,
420万円を減額しています。市債で
は、緊急自然災害防止対策事業債1,
500万円、公共土木施設等災害復旧
事業債1,470万円をそれぞれ増額し
ています。

一般会計 主な歳出

衛生費では、物価高騰の影響を受けている生活者の省エネ家電の導入・買い替
えを支援する、カーボンニュートラル推進事業1,050万円を増額しています。

商工費では、物価高騰の影響を受けている事業者のエネルギーコスト低減
や化石燃料使用量の削減に資する機器の導入・買い替えを支援する、事業
者省エネ対応機器導入補助事業1,800万円、市内事業者の事業継続・経
営改善のための融資制度の利子補給を行う、商工業振興対策事業費補助金
362万7千円をそれぞれ増額しています。

災害復旧費では、本年6月梅雨前線豪雨による道路災害の復旧を行う、公
共土木施設災害復旧事業2,400万円を増額しています。

また、諸支出金では、普通地方交付税のうち、臨時財政対策債償還基金費
分を減債基金へ積み立てる、減債基金積立金2億2,714万8千円を増額して
います。



6月梅雨前線豪雨による道路災害 若代 敬

工事請負契約の締結

【北部地区中継施設整備工事】

北部地区中継施設整備工事の入札を指名競争入札で実施しました。契約金額は、2億1,120万円で契約の相手方は、株式会社三木工務店です。



北部地区中継施設整備予定地 蒜山初和

【真庭市畜産バイオマス発電施設整備設計・施工工事】

真庭市畜産バイオマス発電施設整備設計・施工工事について、公募型プロポーザル方式による随意契約を締結しました。契約金額は9億3,500万円、契約の相手方は極東・梶岡特定建設工事共同



実施設計前の整備イメージ (提供: 極東・梶岡JV)

動産の買入れ2件

【まにわくんの車両更新】

購入物件は、コミュニティバス用中型バス（56人定員）1台。条件付一般競争入札による契約で契約金額は、3,135万円で契約の相手方は、株式会社トラストワークです。



コミュニティバス用中型バス

【1人1台端末の更新】

岡山県公立学校における1人1台端末955台。随意契約で契約金額は、60,414,255円で契約の相手方は、未来を共創するGIGAスクール整備共同体です。



1人1台端末を活用した授業 川東小学校

農業委員の任命

農業委員会委員を同意

6月定例会で不同意となった農業委員19人の任命について議案が提出されました。今回は、再募集の結果、同一候補となったため個別の審議となりました。結果19件全てを同意しました。

氏名	住所
松本 正幸	上中津井
森谷 新一	上水田
後藤 勤	宮地
宮岡 英二	向津矢
赤岩 優	下方
武村 一夫	栗原
海原 康雄	中河内
福島 一則	平松
柴田 博行	惣
矢谷 光生	五反
政保 正孝	余野下
高谷 明弘	三田
高山 康男	岩井谷
池田 和道	延風
池田 実	釘貫小川
美甘 英之	蒜山初和
池田久美子	蒜山富掛田
入澤 靖昭	蒜山下長田
石原 誉男	蒜山西茅部

陳情

【真庭市介護用品支給事業についての陳情】

不採択

真庭市介護用品支給事業について、支給対象は市民税非課税世帯のみとし、課税世帯は支給対象から除外するよう要望するもの。審議の結果、不採択になりました。

傍聴

真庭市議会の本会議・常任委員会を間近で傍聴してみませんか。

傍聴を希望される方は、議会開催中に市役所4階にお越しください。議場の入り口で、住所、氏名、年齢をご記入いただければ、傍聴ができます。傍聴席には大型モニターを設置し、字幕表示をしています。30席用意しています。



議場の傍聴席

決

令和7年度



算



決算審査特別委員会は、9月7日の本会議で付託された令和7年度真庭市一般会計決算の認定のほか、特別会計、企業会計、計13件を9月14日、15日に審査しました。その概要をお知らせします。

一般会計歳出決算額345億9,764万円 18億5,046万円の黒字

一般会計と特別会計の決算状況
令和7年度の一般会計及び特別会計を合わせた決算額は、歳入485億4,584万円、歳出463億5,093万円であり、差額は21億9,491万円の黒字となりました。特別会計、企業会計決算等12件を認定し、一般会計決算は説明資料の訂正により本会議の採決で認定となりました。

一般会計歳入一覧表 (単位:万円)

款	収入済額	構成比率
市税	522,281	14.3
地方消費税交付金	118,844	3.3
地方交付税	1,535,994	42.1
分担金及び負担金	21,799	0.6
使用料及び手数料	34,196	0.9
国庫支出金	347,790	9.5
県支出金	175,897	4.8
繰入金	128,813	3.5
繰越金	171,989	4.7
諸収入	74,371	2.0
市債	358,180	9.8
その他	154,656	4.2
合計	3,644,810	100.0

一般会計歳出一覧表 (単位:万円)

款	支出済額	構成比率
議会費	22,231	0.6
総務費	469,626	13.6
民生費	935,671	27.0
衛生費	366,260	10.6
農林水産業費	190,533	5.5
商工費	69,325	2.0
土木費	316,426	9.1
消防費	144,241	4.2
教育費	392,852	11.4
災害復旧費	3,191	0.1
公債費	465,516	13.5
諸支出金	83,891	2.4
合計	3,459,764	100.0

特別会計歳出決算額 117億5,329万円 3億4,445万円の黒字

特別会計歳入一覧表 (単位:万円)

区分	歳入決算額
国民健康保険	445,100
後期高齢者医療	93,007
介護保険	643,645
介護保険(介護サービス事業勘定)	7,319
浄化槽事業	3,506
津黒高原観光事業	3,162
クリエイト菅谷事業	1,000
温泉事業	13,036
合計	1,209,775

特別会計歳出一覧表 (単位:万円)

区分	歳出決算額
国民健康保険	438,914
後期高齢者医療	92,946
介護保険	617,551
介護保険(介護サービス事業勘定)	7,045
浄化槽事業	3,398
津黒高原観光事業	3,152
クリエイト菅谷事業	1,000
温泉事業	11,323
合計	1,175,329

3つの企業会計

[資本収支の掲載は省略しています] (単位:万円)

国民健康保険 湯原温泉病院事業会計	事業収益	134,391
	事業費用	141,284
水道事業会計	事業収益	127,456
	事業費用	111,270
下水道事業会計	事業収益	170,525
	事業費用	167,604

監査委員報告からの意見(抜粋)

市の財政状況は、経常収支比率は94.2%で、前年度と同率である。依然として、財政構造の硬直化が続いていることから、物件費や人件費をはじめとする経常的経費の抑制に努めるとともに事務事業の見直しや内部管理経費の削減を進め、財政の弾力性を高める必要がある。

財政力指数は0.294となり、前年の0.296から0.002ポイント低下している。実質公債費比率は9.8%と前年度の10.8%から改善しており、将来負担比率については引き続き、充当可能な財源が将来負担額を上回っている。

将来にわたって安定的な財政運営を維持できるよう、引き続き健全な行政経営と財政基盤の強化に努められたい。

代表監査委員 須田秀之氏
議会選出監査委員 福島一則
基金

(単位:万円)

区分	決算年度末 現在高
財政調整基金	844,057
減債基金	294,657
土地開発基金	40,674
未来を担う人応援基金	83,291
振興基金	373,240
情報化施設整備基金	109,091
ふるさと真庭応援基金	40,007
真庭市立学校施設整備基金	36,090
真庭市認定こども園等施設整備基金	31,920
公共施設整備等基金	1,135,830
旧遷喬尋常小学校整備利活用基金	26,307
馬と人との共生基金	6,366
ゆめ学び創造基金	18,906
その他	139,266
合計	3,179,703

※表はいずれも千円を四捨五入しているため、合計に差異が生じている箇所があります

総務常任委員会

委員長 妹島 弘和
副委員長 田島 吉章
委員 緒形 尚
委員 小椋 一郎
委員 柴田 正志
委員 葉廣 峰久
委員 森脇 正和
委員 黒川 愛

本委員会は6月8日、8月14日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《総合政策部》

■ふるさと住民登録制度について

総合政策課から、ふるさと住民登録制度について説明がありました。

ふるさと住民登録制度は国全体で取り組んでいるもので、関係人口をふるさと住民として再定義し、地域の活動に参画する存在として、ベーシックとプレミアムという2つの登録を準備しており、アプリを使って可視化するのがものです。

さらに、利便性と活動の活性化の両立を図るプラットフォームとしてのシステムを構築するため、真庭市が国の実証実験に参加しています。

問

真庭を出て外から真庭を思っている方々を大事にすることも大切だと思うので、そういった方の集まりを支援することについて、前向きに検討できないか。

答

真庭市で生まれ育った人たちが本当に一番大切だと思ってい

る。同窓会などの機会に本制度の積極的な声掛けに取り組んでいく。

■津山市・真庭市・美作市包括的政策連携協定の締結について

総合政策課から、津山市・真庭市・美作市包括的政策連携協定の締結について、説明がありました。

今回の協定の趣旨は3点あり、1点目が人口減少や少子高齢化に伴い行政課題や地域課題が複雑化しており、市単独での対応困難な課題が増加していることに対応するもの。2点目は、3市のそれぞれが地域資源や知見を生かしながら連携を図っていくもの。3点目は、3市が連携して国や県に政策提言や要望を行うことで、美作地域全体の持続的な発展と住民福祉の向上を目指すものです。

《政策推進監兼学びの創造推進監》

■高校再編整備の進捗について

学びの創造推進監付から、高校再編整備の進捗について説明がありました。

岡山県が主導する高校再編整備の進捗について、岡山県教育委員会は

令和8年度

の前半まで

にプロジェクト

チーム

での検討内容

を公表する

考えを示

しており、

8月18日の

プロジェクト

チームでの

議論を踏

まえ、近く、

これまでの

検討状況が

公表される

ものと考え

ています。

問

岡山県教

育委員会に

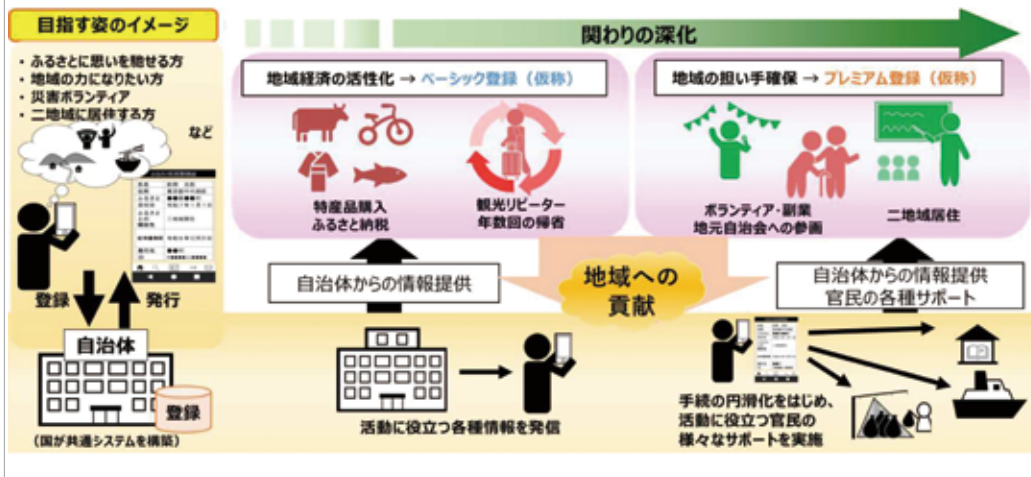
対して、市

内高校の過

去の再編整備がどうで

ふるさと住民登録制度

- 関係人口の規模や地域との関係性を可視化し、地域の担い手確保や活性化につなげる「ふるさと住民登録制度」を創設。
- 具体的には、「ふるさと住民登録」により、各種情報提供や行政手続きの円滑化をはじめ、地域での活動に役立つ官民の様々なサポートが受けられる仕組みを想定。
- 誰もがアプリで簡単・簡便に登録でき、担い手活動等を通じて地域との関わりを深められるよう、プラットフォームとなるシステムを構築。



ふるさと住民登録制度について（総務省HPより抜粋）

答

あったのか、その検証を求めるべきではないか。

過去の再編整備については、短期間で統廃合が繰り返されておき、これまでも県に伝えているが、今後も十分に伝えていく。

文教厚生常任委員会

委員長 伊藤 義則 委員 妹尾 智之
副委員長 伊賀 基之 委員 谷本 彰良
委員 奥 侑樹 委員 苦田 智子
委員 加藤 大悟

本委員会は6月9日、8月17日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《生活環境部》

■生ごみの分別収集量等の状況について

環境課から、生ごみの分別収集量等の状況について説明がありました。

令和7年度の生ごみの分別収集量は、月平均で132トン、年間で1,586トンでした。生ごみの分別、資源化により可燃ごみの排出量は減っており、令和6年度は年間9,774トン、令和7年度は年間7,957トンで、18.6%の削減となりました。

この結果、焼却施設のメンテナンス期間を除き、可燃ごみを外部へ搬出することなく焼却処理できています。今後の課題としては、事業系生ごみの収集量を増加させていくことが重要と考えています。

問 家庭ごみについての分別も、まだ方法があり、周知する必要があるのではないかな。

答 引き続き普及啓発に努めていく。市民アンケートで、分別



市内外からのまにくるーん視察

の成果について情報が欲しいという意見があったため、分別に取り組んできた成果、液肥がどのくらい製造できた

か、まにくるーん（真庭市くらしの循環センター）の視察へ何人来たかというような情報を示し、市民の共感を得ながら分別の推進につなげていきたい。

《教育委員会》

■富原小学校の今後の在り方に関する要望書について

教育総務課から、「富原小学校のこれからを考える検討委員会」から提出された要望書について説明がありました。

子どもにとつての最善の利益を第一に考え、一定規模の集団で安心して学べる教育環境を実現するため、勝山小学校との統合を前提として「よりよい教育環境づくり」の検討を進めていただきたい、再編後も子どもと地域の接点が継続・発展するように支援ください、という旨の要望でした。

要望については、保護者、地域と一緒に、子どもの最善



富原小学校

を考えながら丁寧に協議を進めていきます。

問 富原地区の一番遠いところから勝山小学校までの通学時間。

答 時間はまだ把握できていないが、保護者は通学を一番心配している。今後、協議を進めていく。

問 年度内に富原小学校をどうするか決めるのか。

答 年度は区切らないが、今後協議していく中で、統合するかしないかという判断を明確にし、報告する。

産業建設常任委員会

委員長 庄司 史郎 委員 福島 一則
副委員長 西田 文子 委員 村上 善彦
委員 小田 康文 委員 吉原 啓介
委員 長尾 修

本委員会は6月10日、8月18日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《産業観光部》

■第2回真庭森林林業・木材産業未来戦略会議の概要について

林業・バイオマス産業課から、第2回真庭森林林業・木材産業未来戦略会議の概要について説明がありました。

昨年11月に第1回目を開催しており第2回目を5月26日に開催。協議事項としては3つで、1つ目は「旧真庭高校久世校地跡地を拠点とした大学交付金事業の状況について」、2つ目は「木質バイオマス発電所の後継施設の検討状況について」、3つ目は「若手林業木材産業従事者による意見交換会の結果について」を報告しています。会議には林業・木材産業の関係者を中心に約20名の方が出席しました。

1つ目の大学交付金については、真庭市・岡山県・岡山大学と連携しながら、木造建築の研究拠点の整備ということで5月上旬に大学交付金の申請をしており、7月上旬に予定され



真庭森林林業・木材産業未来戦略会議の様子

ている評価委員会の結果を待っている状況。2つ目の木質バイオマス発電所の後継施設の検討については、整備スケジュールや整備コスト、整備場所についての検討などについて報告しました。一万キロワットの今の発電所と同規模で整備すると、現在の資材価格の高

騰もあり約70億。それに用地費等でプラスアルファかかります。費用の一部は、真庭バイオマス発電株式会社の内留保で対応する形ですが、残りの資金調達をどうするか、今後の大きな課題になってくると感じています。

整備場所については、第一候補地として産業団地内にある今の第一集積地と銘建工業の倉庫がある場所を検討しています。今は、岡山県の所有で真庭木材事業協同組合が借地としており、組合としても物を置いたり、機械を置いたりするスペースが必要で、今後の課題と思っています。

問 木質バイオマス発電所の後継施設の整備スケジュールについて、2035年から稼働させないといけないということだが、これは最短期スケジュールか、最長スケジュールなのか。

答 ここまでには整備したいと思っている。2034年でFITが切れる。国の固定価格での買取がなくなるため同じ状況での発電は厳しくなる。それを見据えて2035年の当初には運転ができるように新しく

整備するとまた別の制度に変わってしまうが、その中で運転できるということとで、経営の安定も可能になると思っているので、ここをめどに整備する必要があると認識している。

《各振興局》

■指定管理施設の令和7年度事業実施結果について

各振興局から、指定管理施設の令和7年度事業実施結果について「指定管理施設の事業実施結果に関する資料」により報告説明がありました。

問 神庭の滝自然公園について、令和6年度は利用料金だけで賄えているのに、令和7年度は管理者の資金から充当されている。入場料収入自体はそれほど変わっていないはずだが、収支が変化した背景を教えてください。

答 人件費の高騰部分とみている。臨時職員2名、繁忙期には1名追加配置していることなどが影響したものと思っている。



神庭の滝

一般質問

9月定例会の議事録は
12月上旬から閲覧できます
二次元コードをスマホ等で読み取ると、一般
質問が視聴できます。
一般質問の記事は、個人質問は800字以内で
質問した議員本人がまとめています。

柴田 正志

問



山間部における
倒木対策

今年3月に市道上の倒木に車両が接触して車両が損傷する事故が起きている。手入れができていない山が増え倒木のリスクも増えてきている。①道路や配電線、ケーブル、鉄道などの重要なインフラに被害をもたらすおそれのある樹木を倒木事故がおきから対処するのではなく、事故を未然に防ぐための予防伐採を推進すべきと考える。②倒



三ツ宗宏教育長



太田昇市長



倒木が道路をふさぐ
高田山上

木はどういった状況なのか。

答 太田市長

①山の管理ができていない。異常気象の中で倒木の可能性のある木が増えている。重要な深刻な課題である。道路作業員の日常的なパトロールでやっている。危険木については私どもが伐採、剪定をする。民間のものは所有者に適切な管理をお願いする。承諾いただけないけど危ない場合は緊急避難で切ることとしていきたい。日本郵便、建設業協会、中国電力ネットワークとも協定を結んでやっている。最大の努力をして安全な道路環境の確保に努めていく。

答 金谷建設部長

②年によって違うが大体300件から400件を超えるぐらいの支障木を撤去している。

問

言葉の壁を越える
スポーツ文化交流

外国人労働者を地域に暮らす隣人として互いに認識しあい自然に良い交流ができ、幸福感を持って生活できる活力ある地域となつて欲しいと考える。言葉の壁を越えやすいスポーツや文化は大きな可能性を秘めている。外国人との共生社会推進に向けてスポーツ・文化活動の多言語情報の発信（ウェブも含む）と交流促進を推進すべきと考える。市長の見解を伺う。

答 太田市長

真庭市でも「対話カフェ」を実施している。国際交流協会というような民間団体がかんりの都市でできている。市民の力でそういう団体ができたらありがたいと思う。

学習スペースの開放に49人

夏休みに合わせて行った市役所4階の議場開放に延べ49人の利用がありました。ご利用ありがとうございました。今後も学校の長期休暇中に計画し、議場開放を続けますのでお気軽にご利用ください。



議場で勉強

政策提言書を手交

8月10日、長尾修議長から太田昇市長に対して「障がい者・児に対する『切れ目のない』支援体制の構築」、「酪農で真庭の観光と農地を守る」、「農業インフラの整備を通じた地域レジリエンス強化」と題した政策提言書を手交しました。



長尾議長から太田市長へ



田島 吉章



高まるオープンデータの重要性

生成AIによるコード生成技術は日進月歩で進化しており、専門知識がなくても自らのアイデアをアプリとして形にすることが可能になってきている。オープンデータ活用の障壁となっていた開発の担い手が、高校生を含む一般の市民・団体にまで広がる可能性があり、本市においてもオープンデータ公開の意義は高まっていると考える。自治体標準オープンデータセット対応を含め、現在の公開状況や形式、更新方法の在り方などを含めて点検・検討するとともに、将来を見据えた積極的公開・拡充をしていく考えはないか。また、市民協働イベントの企画・開催やデータ・生成AIの活用を支援し、市民・企業・学生等のアイデアを実際のサービスや地域課題の解決につなげていくといった機能を、旧久世校地で

検討しているデジタル共創拠点の機能の一つとして検討してはどうか。

答 太田市長

オープンデータ公開は、地域の課題解決、経済の活性化、行政の高度化・効率化・透明性という点でも大事。行政のデータは、市民共有財産であり国民の財産であるため、それを公開するのは当然。その意義は非常に高い。令和5年7月から真庭の行政情報データベースを公開しており、人口、産業、教育、福祉、財政など、約450項目のオープンデータを公開している。行政データ



真庭市行政情報データベース
約450項目のオープンデータが公開されている



谷本 彰良

「まにわサイコー」で一体感の醸成を

真庭市が誕生して21年、人口は約1万5千人減少した。一つの真庭という一体感を醸成していくためにも「まにわサイコー」という曲をもっと活用していくべきと思う。現在の活用状況と今後の取り組みについて伺う。コミュニティバスまにわ

くんに車内チャイムとしてこれを活用することができないか。

答 太田市長

数々の感動したものを幼少期に持つということは、地域への愛着を深めて、それから成人してもそれを持ち続けるといえることが多いと思う。真庭においても、郷土を愛する教育をしている。「まにわサイコー」という曲は、子どもたち自身が制作に携わって、第25回国民文化祭のミュージックフェスティバルで披露した。その歌も一つのふるさとを愛する者として引き継がれていけばいいなと思っている。

答 三ツ教育長

学校での活用状況、これについては把握していない。歌そのものを一律に歌い継ぐことだけではなく、制作の背景であるとか、当時の思いであるとか、その表現をした取り組み自体に目を向けて大切にしたい。今後は歌詞の制作や背景なども、地域学習の資料の一つとして捉えて、必要な場で活用しながら、誇りや一体感の醸成に努めたい。

答 石田生活環境部長

この曲もその活用手段の一つとして、必要なところへの呼びかけや検討を行っていく。



子どもの頃に渡った旧・鹿田橋 曲は「まにわサイコー」で検索



奥 侑樹

問



消防職員の大規模の取得費用

大型免許取得（費用42万円程度）に関して市内事業者の補助金は2分の1、上限20万円がある。消防職員の補助はかなり低い。やりがい前提型の組織のモチベーションのマネジメントの問題だと思ふが、認識はどうか。

答 太田市長

対象経費の3分の1以内、10万円を上限としている。お金の問題じゃない、使命感でということもベースに持つてほしいが、時代が変わってきただというのも認識しなければならぬ。必要な資格は当然公費を中心に、消防に限らず検討する。

問

今後の小・中学校の在り方

育ちの質や最善の学びにどのような条件が必要か。

答 太田市長

育ちの質は、子どもが安心して成長できて、自己肯定感とか社会性を育んでいく環境である。最善の学びは、一人一人に応じた学びと協働的な学びが両立できる教育環境である。

答 三ツ教育長

育ちの質は、子どもに安心があり、自己肯定感や社会性が育つ。最善の学びは、個別最適な学びと対話を通じた協働的な学びが大事である。従前の標準は既に標準ではない。それに縛られることは考えていない。

問

公費、私費の線引き

学用品の購入費用と小部品の記名に要する保護者の作業負担をどのように認識しているか。何を公費で負担し、何を保護者負担とするかを整理した文書はあるか。

答 三ツ教育長

「自己負担—the cost you must accept—」



本市には、公費、私費の負担区分を整理したガイドラインはない。ガイドラインという形になるかどうかは別にして、公費、私費の線引きはしていく。

小 椋 一郎

問



中学生が自由に学習できる場所

市内の中学生自身が自由に学習できる場所について、振興局や図書館で十分足りているのか。既存の公共施設の利用の仕方について、市内の中学生へのニーズ調査をするつもりはないか。各地域に点在する既存の公共施設やコミュニティ拠点が市

民のニーズに合っているのか、調査研究するつもりはないか。

答 太田市長

私はいわゆる市の財産、これはもう市民の財産だ。支障がない限りは、目的外使用で最大限活用できるようにするのが市有財産についての考え方である。真庭市全体で今、いろんな工夫をしているから、かなり子どもだけの居場所、あるいは子どもだけではなく、市民の方々が利用しやすいようになっていくのではないかと思う。今のところアンケートよりは、いろんな施設の実態を把握しているの、その上でどういう利用ができるのか、必要なニーズもつかみながら、最大限の活用を図る。施設については現在

答 三ツ教育長

一定の利用があり、全体として利用状況を見ると、大きく不足しているという状況ではないかと思っている。地域によって実態も



子どもの居場所の整備を 萩山富山根

答 行安総務部長

も連携しながら、子どもの居場所として検討したい。

違うし、利便性も変わるの、今後実態と併せて、対話を通じてニーズの把握をしていきたい。一律のアンケートを直ちに実施するという考えはないが、学校や地域との意見交換、利用状況の把握等を通じて安全面や運営方法を含めて協議して、必要な支援を行っていきたい。

情報を共有し、振興局と

毎日欠かさずしていることは？

ポストに配達物が入っていないか確認をする

小 椋 一郎

フランス語、トルコ語、朝鮮語、イタリア語の学習(Duolingo)

奥 侑樹

葉廣 峰久

問



落合地区スケートボード広場の整備

真庭市には、勝山地域の勝山ストリートパーク川夢と久世地域の久世河川公園スケートボード広場があり、若者を中心にスケートボードを楽しめる広場として利用されている。一方、落合地域には同様の公的なスケートボード広場がない。市民、とりわけ若い世代から、なぜ落合地域にはスケートボードを安全に楽しめる場所がないのかという声を聞く機会が増えている。

若者に危険な場所や、周囲に遠慮しながら活動させる



勝山ストリートパーク川夢(Rimu) 勝山

のではなく、安全に練習できる場所を行政として検討することが必要ではないか。スケートボードは単なる遊びではなく、若者の体力づくり、居場所づくりにもつながるスポーツである。そこで、落合総合公園をはじめ、市有地や既存施設の一部を活用し、落合地域にスケートボード広場を整備する考えはないか、市長に見解を伺う。

答 太田市長

難しい問題ではあるが、一定の条件の下に利用できる、スケートボードができるようにならないか検討をするように指示する。少なくともこの件に関して、できるかできないか、もう一度検討する。若い人が自ら、勝山駅の件でもそうであるが、若い人が立ち上がったエアコンをつけてほしいという中で実現していく、そういうようなことになっていけばと思う。

緒形 尚

問



共生社会推進課って何をするところ

今年4月、市役所に「共生社会推進課」が設置された。共生社会とは、高齢者も障がいのある方も子どもも、子育て中のお父さんやお母さんも、外国の方も、そして様々な事情や悩みを抱えている人も誰一人として孤立することなく、地域の中で自分ら

しく暮らしていける。また支援を受ける人と支援する人を分けるのではなく、誰もが時には支え、時には支えられるながら暮らしていく。そのような地域こそが真庭市が目指す共生社会ではないかと考える。

人口減少や高齢化が進む中、地域によっては人と人とのつながりが薄くなっていると感じる。だからこそ、これからは行政だけでなく、市民、地域、学校、企業、福祉関係者など、様々な人たちがつながり、それぞれの立場で支え合うことが重要になると考える。これからどのような共生社会を目指していくのか。市長に伺う。

答 太田市長

どこまでが共生社会というのか、非常に難しい面はある。個人が尊重され、高齢者、障がいのある方、子どもや子育て世代、外国籍の方、それぞれ環境や条件も違う中で、自分らしく自己実現ができて安心できるまちを創ることが大切である。そういう意味で、個人を尊重するということ、地域をつくっていく



国籍を越えて語り合う生徒間交流事業 落合中学校

ながら、いろんな取り組みをしていく以外ない。

行政としても様々な取り組みを進めていく司令塔として、役割を果たすために課をつくった。行政が中心では駄目だと思う。

しかし行政の旗振りというのには必要である。市民、地域団体、学校、企業、商工会、福祉関係者と連携を深めていくような働きかけをして、一緒になってこの地域で生きていく、支え合っていく、しかし主体性を持つてというような地域社会を目指していく。

伊藤 義則



財政見通し

2025年6月の一般質問で「スクラップ・アンド・ビルド」について質問したが消化不良であった。

今村寛さんの書籍『自治体の台所事情 財政が厳しいってどういうこと?』を読み、同僚と集中講座を受けた。「真庭市中期財政計画(令和8年度~令和12年度)」によると令和8年度以降も財政調整基金を取り崩して予算を組むようになっている。計画では令和12年度になっても財政調整基金を12億8千万円取り崩して予算を組むようになっており、その時点の財政調整基金が44億5千万円だ。いつ頃になれば、財政調整基金に頼らずに予算が組めるのか。

答 太田市長

中期の財政計画をつくっている。その中で人件費の総額が上がっていく、金利高でこれから借りる公債の利率が高く

なり、義務的経費の増大が見込まれる。財政的に弾力性がなくなっている。今後とも財政運営に支障が出ないような財政運営を長期的な視点から行っていく。

問

中山間地域等直接支払制度

「真庭市における中山間地域等直接支払制度実施状況の公表(令和7年度実績)」によると集落協定数が165から126(23.6%減)に減り、農地面積は15,296,283㎡から13,115,232㎡(14.3%減)に減っていた。①なぜ集落協定数、面積とも大きく減ったのか②市はどう対策しようとしているのか。

答 太田市長

①アンケートをとると農作業の担い手不足、事務の負担が増えている。5年間をやる自信がない。営農活動が大変なことになっている。集落の力が弱っている。



中山間地域等直接支払制度
第6期対策パンフレット

②KANAMSを活用し集落協定の活動支援をしたい。北房地域で、自前で体制整備単価の獲得、事務の継続が困難な集落への支援を進めている。現在、9集落で協定を結び協議している。

小田 康文



存続に関する議論はリードしない

昨年真庭市立小学校の適正配置について質問した。その後、何校と、どのような内容で、どれくらいの議論を重ねたのか。

極小規模校に対する真庭市教育委員会としての方針はいつ示されるのか。
例えば在籍する児童数が

1人になっても、地域が了承しなければ学校を存続させるのか。

極小規模校であっても、校舎、屋内運動場、プール等の施設に大規模修繕が必要になれば対応していくのか。

教育施設の修繕や整備の在り方について、方針の中に書き込むのか。

答 三ツ教育長

学校の在り方そのものに関する議論は9校、50回程度となっている。

学校の在り方に関する基本方針としては今年度末までの取りまとめを目標としている。

児童が1人になるような状況では、多様な人間関係とか学校の運営体制などの面から子どもの育ちや学びに支障が生じていないかという観点で慎重に判断する必要がある。

地域の意向はもちろん尊重するが、学校を存続させることが目的ではない。学校を存続させるかどうかは最終的には教育委員会が判断する。

プールについては、多くの学校が老朽化している。大規模修繕が必要になったときに、全部同様に改修していくのかは正直なところ厳しい。

答 浅野教育次長

学校存続に関する議論をリードするつもりはない。そうした保護者、地域に不安がある限りは、適切に伴走支援をしていく。

施設整備とか学校統廃合に関する内容をこの基本方針に盛り込むという考えはない。



全校児童数12名の富原小学校



公共下水道整備区域から外された大字中地内

令和5年に市の汚水処理

答 太田市長

大字開田地区から大字中地区の国道313号沿いは、市において有数の農地等の広がりや有している地域で、都市計画区域にもなっている。市の将来的発展、成長を考えた時、国道313号に公共下水道の本管は計画的に布設しておくことが必要であると考えているがどうか。

国道313号沿いの公共下水道整備を

問



庄司 史郎

整備構想を策定する中で見直しをかけた。将来人口、住宅の分布、今後の維持管理などを総合的にシミュレーションして、こういう地域に関しては公共下水道整備よりは合併浄化槽による個別処理方式のほうが適当だとの判断である。

問

全国学力・学習状況調査結果は

令和8年度全国学力・学習状況調査の中学3年生の数学において真庭市は49となっており、岡山県及び全国の平均数値57を大きく下回っている。今回の中学3年生の数学における数値は、公表されている県内自治体の中で最低のものとなっている。教育委員会としては今回の結果についてどのように分析し、どのように捉えているのか。

答 三ツ教育長

数学に関しては、少なくとも結果として身に付いた学力で十分でないということが表れていると受け止めている。

問



妹尾 智之

紙おむつサブスクの導入を

保護者の負担軽減と保育現場の業務改善、さらには防災対策の観点から本市として導入を検討すべきである。現場の保育士の意見や保護者のニーズを十分に確認した上で、希望する保護者が利用できる仕組みやモデル的な導入を含め前向きに検討してはと思うが、市長の見解を伺う。

答 太田市長

保護者ニーズ、あるいは現場の意見を把握して検討を進める。現場だけの判断を重視するのがいいかどうかというところもあるが、保護者も入れた現場で話し合いの中で検討してもらうというのが一番である。

問

化学物質過敏症や香害への対策

洗剤、柔軟剤、芳香剤などに含まれる化学物質や香りにより、頭痛や吐き気、倦怠感、目まい、息苦しさなどの体調不良を訴える人がいる。いわゆる化学物質過敏症や香害と呼ばれる問題である。香りをなくすのではなく、香りによって困っている人がいることを知り、お互いに配慮できる環境をつくるのが重要である。以下の点について伺う。



関係省庁で作成しているポスター

①市民への周知啓発を行う考えはあるか。
②学校、認定こども園、保育園、放課後児童クラブにおける換気、空気環境の管理、香りに敏感な子どもへの配慮を行っているのか。

答 尾崎生活環境部次長
①国や県が作成している啓発資料を活用し、市のホームページに作成を検討している。

答 三ツ教育長
②現在、学校環境衛生基準に基づいて教室の換気や、空気環境の管理を行っている。化学物質や香りに敏感な児童・生徒については、保護者からの相談内容や一人一人の状況を踏まえながら、席配置の工夫や換気の徹底、学校生活を送りやすくする個別の配慮を行っている。

伊賀 基之

問



学校体育館等へ エアコンの設置を

①災害時、避難所の劣悪な環境の改善が必要である。市内小中学校の体育館でエアコンのある学校は皆無である。国は補助率を引き上げており、断熱・遮熱工事も含むとしている。実際は25%の負担でできる。夏の体育の授業にも使える。設置を計画的に行うべき。

②一時的に避難する避難場所は、地域の集会所などが約230力所ある。集会所施設整備の規程では、エアコンは補助の対象外である。避難場所指定の施設では補助対象にすべき。また、水道料金の減免も必要。

答 太田市長

①避難所で学校の場合は空調のある特別教室、場合によつたら普通教室も利用する。協定を結んだ宿泊施設も活用する。避難所を理由に空調の整備は考えていない。教

育施設としては、空調設備は検討する必要がある。

②自主防災組織補助金、地域づくり事業補助金を十分活用してほしい。避難場所だけを理由に、水道料金の減免は、現時点では考えていない。

問

市民と市の共同で 平和のつどいを

戦後81年を迎え、戦争体験者がほとんどいなくなった。今年も湯原地区の遺族会の戦没者追悼式、市内のお寺の終戦記念日の平和の鐘の取り組み、原爆の絵展なども行われた。市は親子で学ぶ広島平和学習を行っている。

平和の大切さを次世代に伝えるため、市民と市が共



戦場から還ってきた千人針(市内小学校)

同で平和のつどいを行うことを提案する。また、戦争の記憶を引き継ぐため市内の戦争に関する遺品や資料等を、失われる前に、収集活用する戦争資料室を作ることとを提案する。

答 太田市長

戦争の悲惨さ、平和の尊さを次世代に伝えていくことは行政として非常に重要だと思っている。遺族会、市民の意見をいただき検討していく。戦争資料室は萩山郷土博物館の活用がいいと思う。

吉原 啓介

問



空家等対策条例の 必要性

6月定例会でも空家等の対策について質問した。管理不全状態にある建物や土地に起因する事故や環境悪化防止、災害リスク対策は重要な課題。この問題に対する市民の理解と協力を得るために、また対応する市の所管部局のためにも分かりやすく

整理することはとても重要なことではないか。

対策を進める上で、まず関係法規を整理した条例の制定が必要と考える。

答 太田市長

空家関係の対策を関係者と一緒に推進していくというような条例は必要だろうという認識を以前より強くしている。

答 金谷建設部長

所管の委員会に策定状況や制度設計、スケジュール感も意見をいただきながら進めていきたいと思っている。

問

選ばれる地域になる ために

子育て環境の充実を推進するのであれば、まずは義務教育において、どれだけその子の可能性を最大化できる環境づくりができるかが最重要ではないか。

選ばれる地域になるためには市長部局において教育委員会と一体で子育て世代に求められる環境整備を進めていかなければならない。

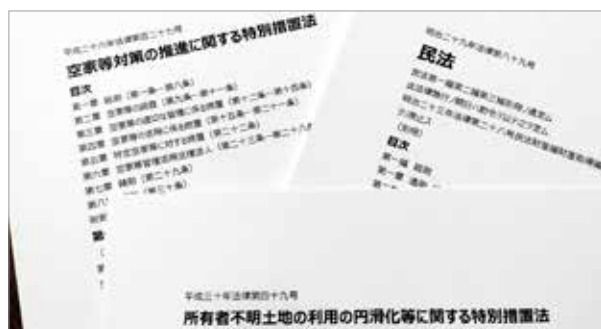
教育委員会と連携した施策をどう策定、推進していくのか。

答 太田市長

子どもの可能性を広げるということは今を生きる私たちの責任であると思う。市民とも一緒にしながら、子どもの可能性を広げる、そして真庭で育つてよかったという教育環境をつくっていききたい。

答 木村総合政策部長

庁内だけではなくて、市民の皆さんと一緒に議論していく場をしっかりと設けていきたい。



空家に関する法規は複数あり、全て理解するのは大変



黒川 愛

問



高レベル放射性廃棄物の地層処分

市長の所見は。

答 太田市長

これまでの考え方どおり。受け入れる考えは全くない。文献調査だけで10億円、何億円という話がある。こういう生命に関することは、お金で判断すべきではない。日本政府は核兵器禁止条約を批准すべき。

問

高齢者の見守りと入浴支援

①市は高齢者の安否確認を兼ね、敬老事業を行ってきた。今年度から見直しになった。民生委員、児童委員、愛育委員、福祉委員の方とともにやっていくことが必要。活動しやすい環境づくりを。②高齢化や介護福祉人材不足、光熱費高騰の中、入浴サービスの現状は。事業所・

利用者へ調査を行い、県や国に必要な要望を行うとともに、市としても工夫・改善の検討が必要では。

答 太田市長

①一体的に推し進めていく地域包括ケアシステムの充実に努める。個人情報も、自覚を持っている方、法令的な制約も十分認識している方に一定程度出すこともできると思う。個別に現場でやってもらえるよう、やりやすいようにするのが私たちの役割。対応していく。

問

分かりやすい案内表示

イラストや平仮名、やさしい日本語を活用した案内、注意表示を施設に。

鳥取県立美術館の表示▶



答 太田市長

ピクトグラムやイラスト、やさしい日本語、多言語表記など、特性を生かした手法も積極的に取り入れる。ユニバーサルデザインの視点から、誰にとっても使いやすい、公共施設の環境づくりに努める。

村上 善彦

問



河川管理における協働体制の構築を

近年、地域を流れる河川では、葦や竹などが生い茂り、土砂や枯れた草木等の堆積、護岸の老朽化など、河川維持管理に関する課題がみられる。これまで地域住民による草刈りなどの協力が河川環境の維持に大きな役割をはたしてきた。

一方で、人口

減少や高齢化、地域の担い手不足が進む中、地域住民だけに頼り続けるには限界があると感じられる。草木の伐採は、搬出や処分まで含めた処理方法を考えねばならない。

①地域河川における課題を踏まえ、県、市、地域住民がそれぞれの役割を明確にした協働体制を構築していく考えはないか。
②県に向けた河川整備についての要望書の取り扱いはどうなっているか。
③地域関係者と市、県と問題解決に向けた話し合いの場を持つ考えはないか。

答 太田市長

①河川について権限のあるところが基本的にやっていくことが前提で、そこをきちんとしないと前に進まない。河川管理者である県のほうでまづきちつと考えてもらう、それに私たちも、岡山県がやる



三坂川 鍋屋

のだから知らないというのではなく、一緒になって考えるということは大事だ。

③清掃の関係だけでいえばそういう場も必要かもしれないが、管理者のところで、根底にある法律の問題をちゃんとしていかないとけない。

答 金谷建設部長

②県に要望書を提出している。令和8年度では要望として6件上がっている。その中で優先順位をつけている。緊急度でランクづけし、3段階に分かれる。基準の低いものは、当面、経過観察箇所となっている。経過観察をして状況に応じてランクが上げられ、計画的に実施されるものと思う。

倉吉市議会との交流事業

7月13日、倉吉市で真庭市議会・倉吉市議会交流事業が開催され、真庭市から19人、倉吉市から16人の議員が参加しました。研修会では「広域観光が地域の未来を変える」をテーマに講演があり、人流データの分析により、蒜山高原センター、倉吉の白壁土蔵群、鳥取県立美術館が集客の核となり、グリーンブルヒルゼン、塩釜冷泉、関金温泉周辺が周遊と滞在を支えていることなどの説明がありました。

その後、鳥取県立美術館を視察し、夏の企画展「マンガを拓く 谷口ジロー」を見学。

活発な意見交換も行われ、今回の学びを両市の観光政策や議員活動に活かし、広域連携の強化と持続可能な観光振興につなげてまいります。



研修会の様子

真庭市議会議員研修会 わがまちがよくなる質問力

7月16日、法政大学法学部の土山希美枝教授をお招きし、一般質問力の向上について研修しました。気づきやアイデアの源は個人から出てくるもの。その質問で「まちはよくなる」のか、そのために何を問いただすのか。

一般質問の機能には監査と政策提案があり、監査は事業を適切に執行しているのか、政策提案は執行部の政策の改善や廃止も含めて現状を変化させることの正当性を提起していくこと。論点を整理し、これだけは引き出したいという設定と戦略を準備し、自治体の問題点をどう改善していくか、行政に話を聞きに行く姿勢も学びました。



一般質問力の向上について研修

岡山市議会議員研修会

8月4日、岡山市議会議長会主催による岡山市議会議員研修会が総社市民会館で開催されました。

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター教授 山口真一氏による「SNS・生成AI時代における市議会議員の情報リスク対策」と題した講演を聴講しました。

ネットが普及した人類総メディア時代、議員、自治体でのSNSの活用は必須であること。一方でネット炎上やフェイク情報などリスクもあることなど、東京都知事選挙、兵庫県知事選挙での事例も含めてお話しいただきました。

講演の後の質疑では、SNSで誹謗中傷を受けた場合の対処方法などもご教示いただきました。



総社市民会館での研修会

真庭市議会生成AI ハンズオン研修

9月1日、真庭市議会生成AIハンズオン研修を議会委員会室で行いました。講師は奥侑樹氏でした。真庭市議会議員のAIに関する事前アンケートでは、「月に1回以上AIを使っている」が16人中12人、「ここから始める」が16人中2人でした。多くが文章の要約と作成に使用し、議事録の下書きなど時間を要する事務作業に使用している人は1人~2人、分厚い資料を読み込みたいという人は16人中10人でした。この研修では、自治体AI zevo の使い方と機能について説明の後、実際に一般質問通告書のスクリーンショットを撮影しアップロード、モデルプロンプトを入力し、AIとの対話を行う一連の流れを学びました。



AI使用について一連の流れを確認

議会の動き

政策討論会を開催



政策討論会の様子

政策討論会は、市民にとって重要な政策及び課題について議論を深めることにより共通認識を図り、政策立案及び政策提言を推進することを目的としたものです。

今年度は、7月3日・29日の2回にわたり、真庭市本庁舎4階委員会室で、真庭市議会政策討論会を開催しました。

総務常任委員会、文教厚生常任委員会、産業

建設常任委員会の各委員会で調査・研修を重ねたテーマをもとに15分程度で政策提案を発表した後、質疑・討議を行い、「この事業の主体はどこになるのか」「国の方針に沿ったものになるのか」「本当に真庭市に必要な事業なのか」など、様々な意見が出ました。

議員討議の後、修正等を行い、全員の合意が得られたテーマについては、後日開催した議会活性化推進特別委員会で、執行部へ

政策提言するとともに取りまとめた政策提言書を市長へ提出することを決定しました。

【合意した政策提言】

- ・障がい者・児に対する「切れ目のない」支援体制の構築
- ・酪農で真庭の観光と農地を守る
- ・農業インフラの整備を通じた地域レジリエンス強化
(8ページに関連記事を掲載していますのでご覧ください。)

ICTで、もっと開かれた議会へ

7月30日・31日、ICT化推進部会は茨城県つくば市と埼玉県戸田市を訪れ、議会のデジタル化と改革について学びました。

つくば市では、感染症や育児などの事情がある議員も、オンラインで一般質問に参加できます。既存のスクリーンやタブレットなどを生かし、高価な専用機器を使わずに実現している点が印象的でした。また、市民と議員が同じテーブルで語り合う「議会カフェ」や、子どもが議場を探検する催しなど、議会を身近にする工夫も参考になりました。

戸田市では、介護や出産・育児などの場合にもオンラインで委員会に参加できるほか、文書のペーパーレス化、政務活動費の見える化、電子採決などを進めています。真庭市と共通する仕組みも多い一方、日々の活用や運用には学ぶ点が多くありました。

ICTは、便利にするだけの道具ではありません。

多様な立場の人が議会に参加しやすくし、市民に情報を分かりやすく届け、皆さんの声を聴くための力にもなります。今回の学びを、真庭市の実情に合った「より開かれた議会」へつなげていきます。



戸田市議会の取り組みを視察



真庭市議会 生成AIハンズオン研修 レポート

2026年9月1日、9月定例会の開会後に、市議会議員を対象とした生成AI研修を行いました。導入を検討しているAIツールの基本操作に加え、生成AIの変化や注意点についても学びました。研修で扱った内容から、市民の皆さんにも役立つ使い方を紹介します。

議員アンケートから見た AIを使う3つのTips

「何を聞けばよいか分からない」という声に答えます。

1 AIに渡してよい資料を渡す

PDFや写真を添え、「この資料をもとに」と伝えると回答が具体的になります。個人情報や未公開情報は入力しません。

聞き方の例

要点を3つで。書いていないことは推測せず『記載なし』と答えて。

2 指示（プロンプト）もAIに作らせる

上手な指示文を最初から書く必要はありません。やりたいことを普通の言葉で伝え、必要な質問をしてもらいます。

聞き方の例

不足している条件を質問し、調査に使う指示文（プロンプト）を作って、

3 何に使えるか・使い方もAIに聞く

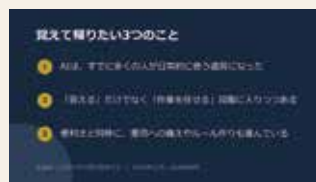
資料や困りごとを見せて、「どんな使い方ができる？」と相談します。提案から自分に合うものを選びます。

聞き方の例

市民向け説明と会議準備に活用する方法を、それぞれ提案して。

研修資料の一部を紹介

前回の議員向け生成AI研修(2025年11月)からたった1年も経っていないにもかかわらず、生成AIを巡る状況は大きく変化しました。議員として少しでもそうした動向を知っておくべきだと考え、研修の中にキッキングアップセッションを入れ込みました。読者の皆さんの目に届く時には、既に古い情報になっている可能性もありますが、紹介します。以下、研修資料の一部抜粋です。

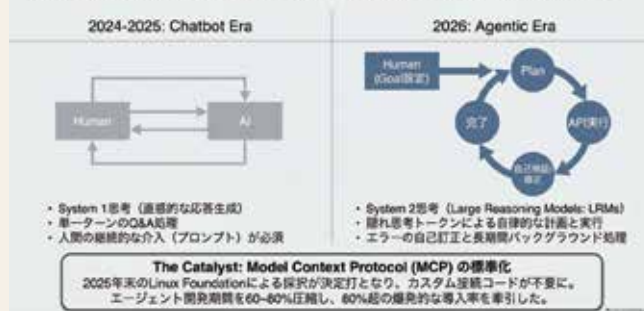


② 「答える道具」から「やってくれる道具」へ



ただし本格的に「作業を任せている」のは、まだ全体の1割ほど。これから広がる段階です。

The Agentic Shift: 「対話」から「自律実行」へのパラダイムシフト



実践 AI「間違い探し」

下の地図は、実際に研修で利用したものです。米国産の生成AIに依存するのではなく、各国が独自に生成AIを開発している（ソブリンAI）ことを説明する地図です。この地図も生成AIで生成したものです。丁度良く間違いが含まれています。探してみてください。米国政府機関も同様の間違いがある生成AIで作成した資料を公開していたことがニュースとなり、話題となっていました。

生成AIと社会をもっと考えるためのブックガイド



『マタギドライブ 計算機自然
の辺縁における脱人間知性的
文明論』
落合陽一
PLANETS／第二次惑星開発
委員会

『AGI 人間を超える知能は
文明をいかに変容させるか』
高橋恒一
講談社選書メチエ



出典：議員向け生成AI研修資料 ※掲載内容は研修時点のものです。 書影は版元ドットコムより

Rise of Sovereign & Open-Weight AI

機関、地政学的アクセス遮断、データ主権の懸念から、国家・地域単位での「自国基盤モデル」開発が加速。



丹ウシアラビアと中国の場所が逆

市民の広場

SHIMIN NO HIROBA

議会
広報◎森脇 正和 ○西田 文子 奥 侑樹
小椋 一郎 苦田 智子 村上 善彦

ここは市民みんなでつくるページです
楽しい気持ちでご参加ください



大物 小林みち江



笹百合 TOTORO

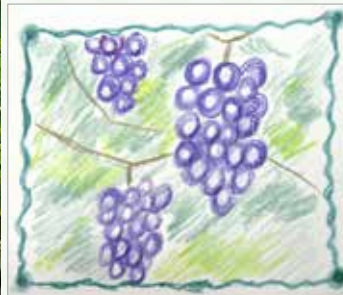


クイズに応募いただいた方々から多くのメッセージをいただきましたので、紹介します。

- 青い空に入道雲が高く湧き上がる季節となりました。真夏の風が青田をざわざわと揺らし、林から蝉時雨のざわめきを運んできます。照りつける日射しは日に日に強さを増して、里をじりじりと焦がしていくでしょう。まだまだ暑い日が続きます。どうかお体大切にお過ごしください。
- 写真の「ささゆり」とてもきれいでステキですね。
- 春にきらめきの里で美甘おこわを買って食べました。ホクホクでおいしかったのでまねして作ったけど、初挑戦は失敗でしたが、孫の誕生で赤飯を去年作ったので、また再チャレンジしたいです。
- 議会の内容を広報まにわと、いきいきテレビによって知ることができ、身近に感じます。
- 避難所のエアコンよろしくお願いします!
- 横顔のコーナーは良かったと思います。座右の銘、好きなことばや猛暑をどうすごしたか、一番行ってみたい所などもどうかと思います。議員さんのなり手が無いという昨今、身近な親しみのわく広報紙が若い方への架け橋になればと感じます。
- 農業者の高齢化で田を作る人が減少しています。もっと取り組みやすい営農集団はできないでしょうか。小字単位でできれば、放棄しないで継続していくことができそうな気がします。私もあとがんばって10年程です。
- 新企画の「議員の横顔」、議員さんをより身近に感じられて、広報を読んでいる中で、箸休めのように、「私はアマゾンプライムでの映画鑑賞だなあ」とつぶやきながら読みました。



春夏秋と咲くブーゲンビリア ハイサイおじさん the heart of the darkness 綿貫澤



ぶどう S.H.

募集

絵画、イラスト、書、写真などを募集しています。住所、氏名、電話番号を書いてください。ペンネームを希望される場合も連絡先と氏名が必要ですが、書いてあることが必要です。

応募先▶真庭市議会
宛先:20 ページの帯欄に記載。



ホームページをご覧ください



ホームページ



フェイスブック

3月定例会の請願と陳情の受付は1月29日(金)までです。様式などの問い合わせは議会事務局までお願いいたします。ただし、土日祝日等の市役所の閉庁日は除きます。市政などについての意見や要望があるときは、誰でも請願や陳情を議会に提出することができます。

請願は、議員の紹介を必要とするのに対し、陳情の場合は議員の紹介は必要ありません。

3月定例会の請願・陳情は 1月29日(金)まで



アジサイの道 藤井正男

問題

ぎかい講演会の開催場所は

○○文化センター

GIKAI QUIZ

ぎかいクイズ

正解

高原ビターチョコレート(「ヒルゼンミルキー(株)」が当たります。はがきに答えとあなたの住所・氏名を本ページ左欄に記載している真庭市議会までお送りください。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

締切: 11月30日(月)消印有効。

前号の応募総数は42通で、正解者は42人でした。ご応募ありがとうございました。

高原山原スィートチョコレート

12月定例会開催予定

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3 議会運営委員会	4	5
6	7	8	9 本会議(開会日)	10	11 一般質問	12
13	14 一般質問	15 一般質問・議案質疑	16 常任委員会	17 常任委員会	18 常任委員会	19
20	21 予算審査特別委員会	22 議会運営委員会	23	24 本会議(閉会日)	25	26

※会議は通常午前9時30分に開会します。
※正式には11月30日(月)の議会運営委員会で決定します。



真庭いきいきテレビ をご視聴下さい

真庭市議会定例会は真庭いきいきテレビ「MIT」のサブチャンネル(122)で生中継しています。

一般質問や各常任委員会付託案件審査は、録画して後日放送しています。

GIKAI HEADLINEは、真庭いきいきテレビYouTubeチャンネルで定例会閉会2週間後から2週間視聴できます。

くじ運も議員の実力

「一般質問の順番は、提出した順番で決まるのでは」——実は私も議員になるまで、そう思い込んでいました。

ところが、なんとくじ引きで決まるのです。これには正直、驚きました。

なぜ順番がそんなに大切なのか。それは、複数の議員が同じテーマで質問を用意していることがあるからです。先に質問した議員が執行部から答弁を引き出してしまうと、後から同じ内容を問う議員は「すでに答弁済み」となり、質問の鋭さが半減してしまうことも……。

つまり、同じテーマなら早い者が有利。その順番を左右するのが、あの小さなくじなのです。

議員として市民の皆さんのために練り上げた質問を、最大限に活かせるかどうか——その一部が「くじ運」にかかっているとは、議会もなかなかドラマチックです。政策の勉強はもちろん大切ですが、どうやら強運も議員に必要なスキルの一つかもしれません。

(文責 小椋)